

野蒜復興新聞

待ちに待った JR 仙石線 5月30日の全線開通間近

▶JR野蒜駅の外観



▶JR陸前大塚駅の外観



大塚・東名・野蒜も着々準備進行中



▲東名駅ホームの看板



▲野蒜駅ホームの看板

3月29日にJR野蒜まちづくり協議会復興部会で、野蒜の状況に即した対応を提案。また、観光事業の復興へ大きな一歩となります。

協会の復興部会で、野蒜の状況に即した対応を提案。また、観光事業の復興へ大きな一歩となります。また、仙石線が東北ラインの復旧に大きく貢献する見込みです。4月11日に開催された第11回復興部会で、観光は重要なテーマであり、この機会に、重要なお話を進めたいと考えています。また、山積している検討事項も、車載のみならず、

仙石線開通記念セレモニー開催のお知らせ
 平成27年5月30日(土)
 ・記念式典(JR野蒜駅周辺)10時頃(予定)
 ・イベント(野蒜市民センター周辺)11時頃(予定)
 JR仙石線開通を記念し、セレモニーを開催致します。JR野蒜駅周辺では、野蒜小児童による野蒜復興太鼓の演奏、野蒜市民センター周辺では、ステージショー等が開催されます。ぜひ、お越しください。
 (お問い合わせ先: 東松島市復興政策部復興政策課 0225-82-1111(内 1231))

皆で参加しよう。

	快速	快速	快速	特別快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速
仙台発	6:26	7:24	8:18	9:24	10:14	12:17	13:16	14:16	15:14	16:14	17:11	18:19	19:26	20:23
野蒜	7:05	7:56	8:54	レ	10:54	12:55	13:55	14:55	15:54	16:46	17:44	18:53	20:03	20:57
陸前小野	7:12	8:00	9:00	レ	10:57	12:59	13:58	14:58	15:58	16:52	17:50	18:57	20:07	21:01
矢本	7:16	8:05	9:06	10:05	11:02	13:03	14:02	15:02	16:04	16:56	17:55	19:01	20:12	21:07
石巻着	7:30	8:18	9:23	10:16	11:18	13:17	14:19	15:19	16:18	17:13	18:13	19:17	20:25	21:21
	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	快速	特別快速
石巻発	6:35	8:11	9:03	9:57	10:58	11:52	13:58	14:58	15:50	16:51	17:52	18:57	19:56	20:58
矢本	6:48	8:27	9:16	10:13	11:11	12:06	14:12	15:12	16:04	17:06	18:07	19:11	20:12	21:07
陸前小野	6:53	8:31	9:21	10:17	11:16	12:10	14:16	15:16	16:10	17:11	18:11	19:15	20:17	レ
野蒜	6:56	8:35	9:24	10:21	11:21	12:14	14:22	15:22	16:14	17:15	18:19	19:21	20:22	レ
仙台着	7:35	9:18	10:05	11:05	12:02	12:55	15:03	16:02	16:49	17:49	18:52	19:56	20:56	21:50

▲仙石東北ライン時刻表(東日本旅客鉄道(株) 仙台支社 HP より抜粋)

災害公営住宅 中間報告全体会開催

野蒜北部丘陵振興協議会の災害公営住宅部会は、災害公営住宅に入居される住民の方に向けて、中間報告全体会を開催いたしました。本会におきまして、この活動の概要や、現在の状況の報告、また、公営住宅の取組については、正式に本会では了承され、今後は了承された基本プランにより、細かい仕様を決定してまいります。平成26年8月8日、10日に実施した報告会では、約50世帯におきまして、約80名の方が参加されました。災害公営住宅への入居予定時期は、この

野蒜北部丘陵地区の模型展示中



現在、野蒜市民センターの集会所にて、野蒜北部丘陵地区（高台）の模型が展示されております。宮城大学の鈴木助教と、ゼミの学生たちの協力により、完成いたしました。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

西部・中央工部局の平成29年11月1日、東部の一部が、野蒜北部丘陵地区の中間報告全体会を開催いたしました。本会におきまして、この活動の概要や、現在の状況の報告、また、公営住宅の取組については、正式に本会では了承され、今後は了承された基本プランにより、細かい仕様を決定してまいります。平成26年8月8日、10日に実施した報告会では、約50世帯におきまして、約80名の方が参加されました。災害公営住宅への入居予定時期は、この



▲3月28日の報告会の様子



▲約80世帯の参加がありました

野蒜を知る旅〜おらほの駅〜

伊達四代藩主綱村が愛した地、野蒜
奥松島観光の玄関口。昭和55年代は1日約二千五百人の乗降客があった。駅を出るとすぐに東西に流れる東名運河があり、その運河にかかる近代土木遺産の不老橋を渡ると余景の松原がある。伊達4代藩主綱村が眺めて「松島の景勝の他にも余景（よげ）な松原よ」と鑑賞したという。それほど見事な雅趣に充ちた松原であった。松林を過ぎると延長3キロもある明るい野蒜海岸が広がる。遠浅で砂が白い海水浴場は、県下有数の海水浴客を集めていた。花魁島の嵯峨溪が遠望される。（仙石線物語より抜粋）

塩田にかけた吉兵衛が愛した地、東名
日本では大昔から塩の生産が行われていた。鳴瀬町にあった野蒜塩田は安永7年（一七七八）に高城に住んでいた奈和良元直という人が東名の長浜に初めて二十五町八反の塩田を開拓したのが始まりという。この時の工事監督として丸森から齋藤吉兵衛がやって来て塩田開発が完成したところ、東名に百間四方の土地をもらってそこに定住した。この塩田の製塩は長く続き、廃藩置県となっても行なわれたが、大正2年以降、再三の洪水で四十八町余は廃塩田となり、東名長浜塩田も大正5年から水田となった。（仙石線物語より抜粋）

民謡育ての親、後藤桃水翁が愛した地、大塚
「民謡」の語は古いが、当時は死語同然で一般には通用せず、全く民謡が理解されていなかった。そんな時に東京で、地方に伝わる唄の大会が開かれることになった。そこで桃水が、郷土の唄を全国に広めるには「百姓うた」では効果がないういし、かといって「土地うた」でもおかしい：と呻吟していた時に、裏庭でセミがミンヨウミンヨウと鳴いた。この声にヒントを得て「全国民謡大会」と銘打ち、それから「民謡」の言葉が全国的に普及して定着した。（仙石線物語より抜粋）

